

庶務課長
印

庶務課長補佐

総務掛長
印

総務掛

印

印

謹啓

貴学には益々御発展の因お戻り申し上げます。
つきましては早速要件によりらせて戴きますが、
話は古キドカガのぼりますが、貴に見玉
作左衛門といふ歎授か在職にていた当時にな
ります。見玉歎授は言術研究と稱し北大の
歎授としてアイヌ民族の血液採集を全道的
に実施した事實がありまく、どう際にアイヌ民
族の研究に血液と共にアイヌ民族の所有する
物具の中から貴重なもの無償、或いは一時
借用と稱して全道的に多くのものを集積した
こと事実としてその解決が未だそのままで
なつております。

和達アイヌ民族は北大の偉い先生が民族のため
に研究すことを心よりこのから全面的に協力を
まなかつた事も事実です。

説人セイジンも未だに、残存しております。

北大の教授とて研究のために集収したものには個人の物になるかどうか、北大学長とての考
え方をお聞きいたい。

現在教授は法の手続を経ないで勝手にアイ
ヌ民族の墓を掘り起し、人骨(一玉。体)を持ち
去つた事実は許されぬ問題であります。

現在その人骨を買却していふ風聞もあり余
りにも非常識であることにあきれていふ一人である
研究が終つた後元の墓地に返すのが筋である
と想ひますから、長の考え方をお聞きいたい
その墓地の遺族から一人欠名稱(名前)かつてい
る筆者から一件毎に遺族に対する返して頂いて
頂きたい。

その他、集收されたアイヌ民族關係の資料は
アイヌ民族文化資料館が平取町字二风谷上

出来でいるので一括返却して頂き、
は私物化して公表二億円に値します
とて自滿しているどうぞおや此大教授とての
食鐵を信用して今ままで俄慢しきたア又
民族とては許されぬ事であります
以上について責任ある回答を要望致します

元八。年十一月二十七日

北海道大口
さま長殿

163

追信

(起源)

世界の人類学者は人類の発生を研究するためには不可欠であり貴重な存在である古アジア族に属するオリヤーク族、アイヌ族、エスキモー族・バスク族をあげてある。また周囲の民族と系統的に關係が認められない孤立した民族としてアイヌ族バスク族、ギリヤーク族をあげてある。さらに人類学者はこれら三つの民族を人類の孤高・謎の民族として、人類(ホモセニンス)に属する古い民族である。その数が世界で五万人といわれてある。その中にアイヌ族(一万五千人)が入っている。

以上のことから世界の人類研究機関の学者達はアイヌ民族の人骨を貴重な資料として手に入れたいという希望が多いことは想定である。従って児玉教授不法に墓をあばき一五〇体も集め收めたまゝうち海外に譲渡一たものがある筈です。その内訳を詳細に公開させたい。
墓をあばいたときどう附屬埋葬葬品を一緒に持ち去つて
いるかと同時に公開されたい。

血液の採集はアメリカの大半の依託によるものと確認して
いるのでその研究の結果・アイヌ民族人骨の研究結果
を一切含すところなく公開すること。
要是発掘から研究一回後措置をすべて事実を明
らかにすることをがたくて要望します。